

三豊市公立病院経営強化プラン(みとよ市民病院編)概要

【現状分析】

P4~P8

外部環境分析

- 患者 : 三豊市が 9 割
- 三観人口 : 今後減少、高齢化率の上昇
- 医療需要 : 年々減少
- 介護需要 : 2040 年までは現状を上回る
- 三観病床数(対県平均) : 一般病床 下回る、療養病床 上回る
- 三観医師数(対県平均) : 下回る
- 地域医療構想(西部) : 高度急性期・回復期=不足
急性期・慢性期=過剰
- 感染症拡大時の対応
- 医師の労働時間の制限(働き方改革)
- 診療報酬改定による収益構造の変化

P9~P17

内部環境分析

- 医業収益…増収傾向 : 新病院になってからの診療環境整備
入院…増 : 病床利用率の向上、地域包括ケア病床の増収
外来…増 : 発熱外来、整形・泌尿器科の診察充実
デイケアサービスの拡充
- 医業費用…増加傾向 : 医業費用 > 医業収益(比率は低下)
医業収益の増加に伴う増加
- 現預金残高 : 短期的な債務を支払う最低限の能力はあるもの
の、安全な水準には達していない
- 借入金 > 現預金 : 借入額が大幅に上回る
- 入院患者数…増加傾向 : 新病院開院、病床利用率向上施策
地域包括ケア病床による診療報酬の増加
- 外来患者数…増加傾向 : 発熱外来、専門外来の推進

【経営に係る指標】

全体的には改善傾向であるが、達成することが望ましい水準に達していないものもある。類似病院の平均に届いていないものが多い。

<他病院を基準として強い部分、同じくらい>

- 材料費率
- 病床利用率
新病院になったことで、大幅に上昇
- 医業収支比率
: 医業費用をどれくらい医業収益で賄えているか
- 委託比率 : 医業収益に対しての委託料の割合

<他病院の平均と比較して弱い部分>

- 経常収支比率 : 全体として費用をどれくらい収益で賄えているか
費用 > 収益(収益 ≥ 費用が望ましい)
- 給与比率 : 医業収益に対しての人件費の割合
70%を超えている(70%以下が望ましい)
- 外来患者数、一人当たりの収益(外来、入院)
外来患者数は他病院に比べ低い
患者 1 人当たりの単価は、外来、入院ともに低い水準

【課題】

P18~P19

①収入増加・確保

- 新病院の広報活動
コロナにより講演会を中止していた等、病院の魅力を発信
する場を設けられていなかった
- 病床利用率の向上
精神病床の利用率が低い
- 外来診療単価の向上
類似病院と比較して大きく下回っている
- 検査機能の充実、検査の連携
最新の機器が整備されている状況から検査受入の検討

②経費削減・抑制

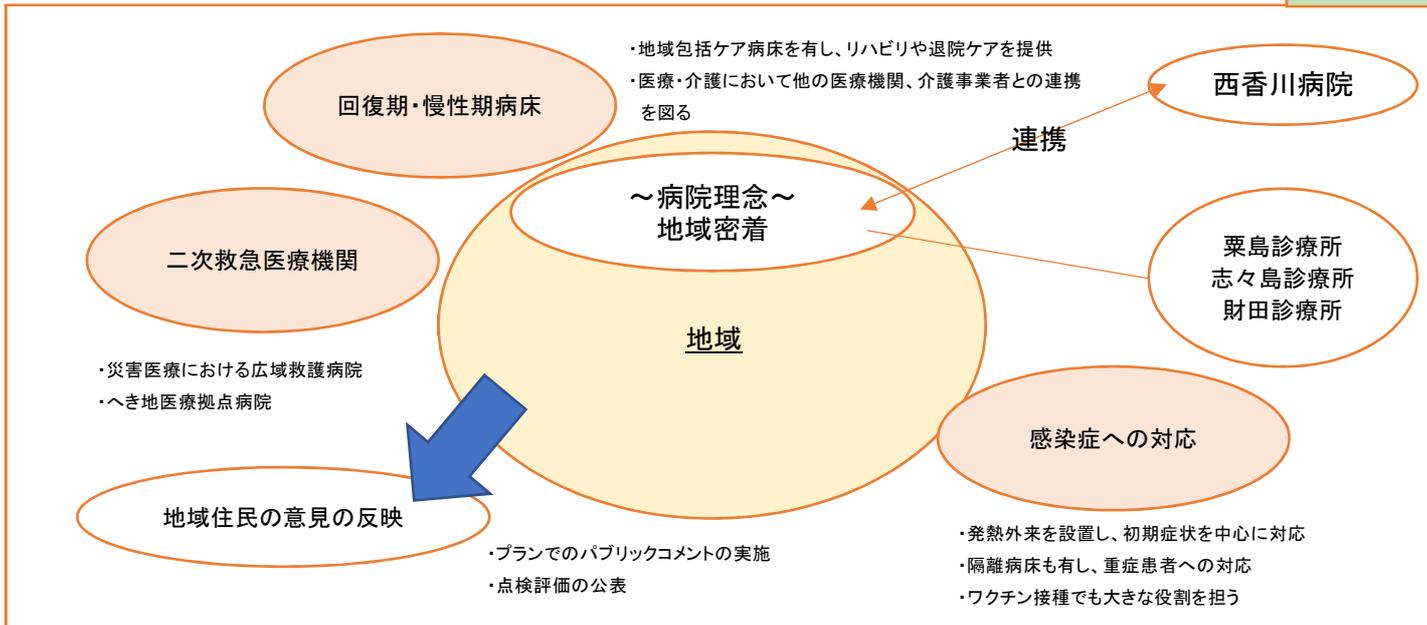
- 職員給与費比率の抑制
類似病院と比較して高い水準である
- 委託料の見直し
委託の必要性、価格の妥当性があるか
職員が実施する業務で委託が適当なものがあるか検討

③人員確保・離職防止

- 慢性的な常勤医師の不足
三豊市の医師数は県平均を大きく下回る
- 職員職場満足度の向上
離職を防止する取組
- ICTの推進による効率化
コスト、業務負荷の軽減

④施設

- 設備投資の課題はなし
- 旧病院の建物の解体



【経営指標の目標】

病院の持続経営においてもっとも重要な要素となる十分な預金残高を保有することを目指し目標値を設定しました。

①収入増加・確保

【施策1】 整形外科手術の増加・入院の増加

- ・近隣クリニックへの依頼による患者紹介件数の増加を目指す（医師の増員により対応可能件数は増加している）

【施策2】 精神科病棟のストレスケア病床利用者の増加

- ・パンフレット配布によるストレスケア病床の広報
- ・ストレス疾患患者以外の精神疾患についても対応する

【施策3】 小児科診療日数の増加

- ・R5からの診療日数の週1回増を今後も継続

【施策4】 糖尿病診療日数の増加

- ・令和5年度からの糖尿病外来の本格稼働
- ・糖尿病外来機能の充実

【施策5】 発熱外来収益の維持

- ・専門科があること、受け入れ実績の広報活動

【施策6】 外来単価報酬見直しによる単価アップ

- ・外部専門家とのレセプトチェックにより、対策を講じる
- ・健康寿命増進のための検体・放射線検査の推進

【施策7】 講演会の開催

- ・整形外科医とリハビリ科による地域講演会
- ・所在地である詫間町以外での講演会を開催し利用を促す

【施策8】 リハビリの利用促進

- ・リハビリ科の稼働状況を医師と共有、効率的な利用を目指す

【施策9】 室料差額の徴収

- ・全室個室で室料差額なし→設備に応じて一部別途料金設定

【施策10】 訪問看護ステーションの利用者増加

- ・関係機関へのパンフレットの配布

②経費削減・抑制

【施策1】 人員配置の適正化による給与費のコントロール

- ・新規採用促進による平均年齢の抑制
- ・定年延長・再任用の活用
- ・部門を跨ぐ職員の業務の適正化

【施策2】 委託料の見直し

- ・従来契約していた委託の一部解除を検討
- ・委託料の見直しや見積徴収、入札の検討

③人員確保・離職防止

【施策1】 常勤医師の確保

- ・大学や関連医療機関に対する積極的な採用活動の実施
- ・民間紹介会社等の活用

4. 経営強化プランの目標と具体的な取組

(1) 投資財政計画

病院の持続的経営に最も大切な要素として、十分な現預金残高を有する、という点が挙げられます。このため、投資財政計画を策定するにあたり、計画最終年度である令和9年度時点で、令和4年度末時点と同水準の現預金残高を保有する点を重視し、策定しました。

● 図表 23 投資財政計画(単位:千円)

	R5	R6	R7	R8	R9
1. 医業収益	1,645,784	1,781,434	1,812,527	1,840,871	1,842,686
(1) 入院収益	932,493	1,023,952	1,027,319	1,030,686	1,034,071
(2) 外来収益	464,782	492,816	520,438	545,312	543,638
(3) その他医業収益	248,509	264,666	264,770	264,873	264,977
2. 医業費用	2,059,485	2,137,556	2,141,270	2,136,807	2,132,666
(1) 給与費	1,217,633	1,265,106	1,268,526	1,267,474	1,275,747
(2) 材料費	215,317	252,054	257,198	261,887	262,171
(3) 経費	341,528	326,880	327,298	327,758	323,264
(4) 減価償却費	260,134	269,928	264,660	256,100	247,896
(6) 研究研修費	24,373	23,588	23,588	23,588	23,588
医業利益	△ 413,701	△ 356,122	△ 328,743	△ 295,936	△ 289,980
3. 医業外収益	403,313	355,726	353,650	350,277	347,045
(1) 受取利息配当金	1	4	4	4	4
(2) 他会計負担金	223,525	223,525	223,525	223,525	223,525
(3) 他会計補助金	13,051	22,208	22,208	22,208	22,208
(4) 補助金	22,208	2	2	2	2
(5) 患者外給食収益	716	773	773	773	773
(6) その他医業外収益	3,065	2,862	2,862	2,862	2,862
(7) 長期前受金戻入	140,747	106,352	104,276	100,903	97,671
4. 医業外費用	90,341	83,107	82,856	82,668	81,714
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	31,035	30,621	29,854	29,189	28,577
(2) 雑損失	59,306	52,486	53,002	53,479	53,137
5. 訪問看護事業収益	38,584	41,641	43,641	45,641	45,641
(1) 訪問看護診療収益	27,298	25,836	27,836	29,836	29,836
(2) 訪問看護介護事業収益	9,270	13,112	13,112	13,112	13,112
(3) 訪問看護利用料収益	1,757	2,434	2,434	2,434	2,434
(6) 他会計補助金	259	259	259	259	259
6. 訪問看護事業費用	44,078	44,535	44,912	45,293	45,678
(1) 給与費	43,062	42,862	43,239	43,620	44,005
(3) 経費	944	1,528	1,528	1,528	1,528
(4) 研究研修費	0	141	141	141	141
(5) 雑損失	72	4	4	4	4
経常利益	△ 106,223	△ 86,397	△ 59,220	△ 27,979	△ 24,686
7. 特別利益	3,351	0	0	0	0
8. 特別損失	701	1,103	1,103	1,103	1,103
(1) 過年度修正損	701	1,103	1,103	1,103	1,103
当年度純利益	△ 103,573	△ 87,500	△ 60,323	△ 29,082	△ 25,789
資本的収支(4条)	R5	R6	R7	R8	R9
1. 収入	66,200	113,800	87,700	80,600	143,000
(1) 企業債借入	21,200	0	0	0	0
(2) 出資金	7,000	0	0	0	0
(3) 繰入金	38,000	113,800	87,700	80,600	143,000
(4) 補助金	0	0	0	0	0
2. 支出	69,445	227,739	175,404	173,157	298,086
(1) 企業債・借入金償還	69,445	227,739	175,404	173,157	298,086
(2) 建設改良費	0	0	0	0	0
4条収支	△ 3,245	△ 113,939	△ 87,704	△ 92,557	△ 155,086
現預金残高計算(簡易)	R5	R6	R7	R8	R9
+ 減価償却費	260,134	269,928	264,660	256,100	247,896
- 長期前受金戻入	140,747	106,352	104,276	100,903	97,671
現預金残高	134,516	96,653	109,010	142,568	111,918